

新潟生命歯学部75回卒 30周年記念同窓会 in 新潟

平成28年6月11日快晴の土曜日、新潟生命歯学部411教室にて新潟生命歯学部75回卒30周年同窓会記念特別講演会が開催されました。講師には、新潟病院長山口 晃 教授（69回）をお招きして、ご講演「新潟病院の現状と展望－歯科医学の未来を見据えて－」をいただきました。本学の教室に座り講演を聞くのは30年ぶりということで、皆、昔の学び舎を懐かしく思うと共に新しい教室設備に母校発展の息吹を感じていました。

この日は、大学構内で浜浦祭が開催されていることもあり、講演会が終了後に黒川裕臣副病院長（70回）のご厚意により学内および病院設備を案内していただき、皆30年前に病院実習で厳しく指導された思い出を懐かしんでおりました。新潟生命歯学部のキャンパス中庭には中原市五郎先生の銅像があり、生誕150年の記念事業の年に鑑みここで第1回目の記念写真の撮影を行いました。医の博物館も見学し、学内ツアーを終えた75回同窓生一行は、貸し切りバスで思い出の浜浦町から懇親会場の新潟グランドホテルへと移動しました。

懇親会に先立ち中原 泉 理事長・学長先生をお迎えして記念撮影を行いました。懇親会の司会は、川上尚彦君（新潟市開業）が行い、まず始めに中原理事長・学長先生にご祝辞を頂き、次いで小林 寛 名誉教授からご挨拶と「生命」についてミニレク

チャーを賜り未だ衰えない科学への探究心をご教授いただきました。その後、新潟75回同窓生で校友会本部常務理事の宮川慎二郎君（東京都開業）が校友会事業全般の説明、110周年事業、西村まさみ参議院議員への支援呼びかけについて報告しました。次いで萱中智幸君（長岡市開業）からこの会の会費の一部を母校へ寄付させていただくことの報告があり、中原理事長・学長先生に目録を贈呈しました。山口病院長の乾杯のご発声の後、懇親会が始まり久しぶりに会う懐かしい顔の面影は昔のままでも、お互いの30年の歴史を感じつつ、そこかしこに笑顔の輪ができていました。新潟生命歯学部75回同窓生は、北は北海道から南は沖縄まで140余名がおり、今回も1人1分の近況報告が1時間余り（出席者55名）続き、特に現在子弟が本学に在学中の先生方（約10名）は力の入ったスピーチをされました。

次期開催幹事 堀 正裕君（東京都開業）の決意表明の後、中締めには黒川副病院長からご祝辞を頂き、岡村勝文君（元少林寺拳法部、東京都開業）指揮のもとエールと全員で校歌斉唱し、閉会となりました。その後、三々五々、二次会、三次会に懐かしの新潟古町で心行くまで楽しい時間と美味しい酒肴を存分に楽しまれた一同でした。

（葛城啓彰 記）



新潟生命歯学部75回同窓会
平成28年6月11日 於 新潟グランドホテル



新潟生命歯学部キャンパス中庭
中原市五郎先生像を囲んで